

ふれあい

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

編集発行 社会福祉法人 京極町社会福祉協議会
〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031
Eメールアドレス kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp
ホームページアドレス http://www.shakyo.or.jp/hp/63/

祝

広報ふれあい100号記念

平成4年に広報ふれあいが始まり、地域の皆様のおかげで100号を迎えることができました。今回100号刊行にあたり、京極町の福祉活動を広報ふれあい創刊～30年間を振り返ってみました。(P.2～)

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



老人ホーム慶和園を慰問する
京極保育園の園児たち

1号

編集 社会福祉法人京極町社会福祉協議会 ☎(0136)42-3681・42-2111 内54
発行 〒044-01 北海道虻田郡京極町字三崎314番地 印刷 パナソニック文化堂印刷
平成4年12月15日発行

ふれあい



赤い羽根共同募金にご協力を

9号

運動期間 10月1日～12月31日
ミューチュアル・パートナー（相互扶助）を
キャッチフレーズに、「赤い羽根共同募金」の
運動が盛り込まれた。当年度の半年分目標額は
105万7千円となっています。皆様のご協力
をお待ちします。

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



“皆元気にはいポーズ”
3月26日

10号

京極保育園 おわかりが
社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



“デイサービス利用者と一緒にハイポーズ!”
8月14日 第27回京極ふるさとまつりが開催されました。

29号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



“大物芸能人大集合!!”
11月30日 慶和園の入居者のみなさんと交歓会を行いました。

34号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



デイサービスセンターのレクレーションで
泊村に行ってきました。

36号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



畑を作りました
福祉センター裏に小さな畑を作りました。ミニトマト、ナス、ピ
ーマン等の野菜の苗をデイサービスの皆さんと一緒に植えました。
秋の収穫を楽しみに、草取り、水やりを行っています。

44号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



ひまわりフォトコンテスト

47号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



51号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



地域福祉実践計画策定に取り組みます

53号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



ひまわりフォトコンテスト作品展開催中!

54号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ふれあい



暑中お見舞い申し上げます

57号

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

ほかほかまつり
10月31日(日)開催決定!
10月31日(日)開催決定!
ほかほかまつり
10月31日(日)開催決定!
ほかほかまつり
10月31日(日)開催決定!

～広報ふれあい30年の歩み～



当時は「給食サービス」でした。

平成4年 広報ふれあい1号発刊!

昭和26年に京極町社会福祉協議会が誕生して40年。町民の福祉活動の中核として、社会的資格と責任を持つために、平成4年9月17日社会福祉法人格を取得して、同年12月15日広報ふれあい第1号を発刊するに至りました。

また、在宅サービスの第1弾として「給食サービス」が、同年12月3日週1回(木)16世帯(1食¥200)からスタートしました。現在も「配食サービス」として、5世帯(1食¥500)の方々が平日週5回を限度にご利用いただいています。

13号 平成11年 福祉センターに引っ越しました!

待望の福祉センターが完成し、社協の本拠地を商工会館から現在の場所へ移転しました!

現在まで続く、デイサービス、在宅介護支援センター、ヘルパーステーションは移転をきっかけに開始されました!

これらに加えて、現在は地域包括支援センター、予防センター、生活サポートセンター、ボランティアセンターなどの事業も実施しています!



4月14日 福祉センター竣工式



京極小学校のよさこいソーラン!

19号 平成12年 第1回ほかほかまつりを開催!

町民が気軽に立ち寄れる憩いの場を提供するため、医療・保険・福祉が協働し「温かい心の通う福祉と健康の町」をスローガンとして開催されました!

収容できない程の満員の中で、町民の方々のカラオケ大会や京極小学校6年生のよさこいソーラン踊り等が披露され、大盛況のイベントとなりました!

現在はコロナ禍でなかなか開催できない状況が続いていますが、今年こそは3年ぶりの開催ができることを願っています。

(同年4月、介護保険制度が始まりました!)

50号 平成21年 介護予防事業の始まり!

「体力の衰えや気になる部分を予防して、いつまでも自分らしく生活しよう!」と、町のミニドックで心身機能について予防が必要とされた方を対象に、『ふまねっと健康教室』と『お口の健康教室』の2教室が開講されました!お口の体操は美容効果もあるということで、皆さん真剣に取り組んでいたそうです。

現在は住民の皆さんが主体となって『シャキッと会』や『つどいの場』や『サロン』などの活動を通して、健康づくりの輪が広がっています!



皆さん踊るようなステップで!

56号 平成23年 共楽クラブ45周年!

共楽クラブが45周年を迎え、公民館で式典を開催しました!

共楽クラブとは65歳以上の方で構成される趣味や地域貢献を主に活動する団体です。昭和40年から今日まで続く伝統ある会で、現在も会員数は75名を数えます。

発足当時から会を挙げて地域社会への貢献に積極的に取り組んでおり、社協の歴史を語る上でも欠かせない存在です。



今度はもうすぐ60周年です!



クリーニング店の真向かいです。

80号 平成29年 共生型地域福祉拠点kyo-cocoができました!

平成29年4月にきょう・ここがオープンしました!

きょう・ここは「いつでも」、「だれでも」、気軽に立ち寄れる居心地の良い場所を目標に建てられ、様々なサークル活動や地域食堂、話し合いの場所としても活用されています。平成30年にはNPO法人として独立し、京極町の憩いの場として親しまれています。

また会員同士で買い物やお掃除などを行う、支え合いステーションもとても好評です!

93~95号 令和2年~令和3年 「コロナ禍」での活動について

令和2年の春ごろ、コロナウィルスが北海道でも確認され、今の世は「コロナ禍」だと呼ばれだしました。コロナ禍においても、「ウォークラリー」や商工会館での「サロン掲示板」、デイサービスでの「オンラインクリスマス会」等、ソーシャルディスタンスを守りながら様々な活動を住民の皆さんと一緒に作り上げてきました!



Withコロナにもやっと慣れてきましたね!



「支え合い」は今も昔も変わらずに...

令和4年 広報ふれあい100号発行!

1号発行から約30年が経ちました。様々な出来事や人々との出会いがあり、京極町の福祉は大きく前進しました。「京極町社会福祉協議会」、そしてその活動を伝える「広報ふれあい」は皆様の支えや応援、ご協力のおかげで長く続けることが出来ました。これからも京極町に暮らす皆様の「ふだんのくらしのしあわせ」のため活動を進めていきます。

歴代会長からのご挨拶

社協広報「ふれあい」100号発行にあたって

笹原 満雄

社協広報「ふれあい」が99号までの歴史を経て、この度、意義ある100号を迎える事となり、本当におめでとうございます。

職員も必要な部署には必要とされる職員をそれぞれ配置され、京極町の社協の体制は非常に良いように思われます。これからも町民の皆さんが安心して暮らしていける町になるように今後ともよろしくお祈りします。なお私も微力ながらお手伝いできればと思っています。



社協広報「ふれあい」100号発行にあたって

「過去をふまえ築かれ30年」

柳原 保

輝やかな100号発行おめでとうございます。平成4年12月15日に第1号発行以来、今ここに時移り歳流れて30年。一口に30年と言えば簡単なことですが、これまで継続してきた関係者の熱意とご努力に敬意を表します。

広報「ふれあい」を読めばその時の社協の活動と町民の様子を知ることができます。「記録したものは時を経るほど値打ちができる」と言ったのは「動物記」を書いたシートンの言葉ですが、そういう意味ではこの「ふれあい」はまさに値打ち物でしょう。

現在の社協は過去をふまえ築かれてきました。職員の努力はもちろんですが、何と言っても町民の皆様のご理解とご支援ご協力があってのことです。この広報の大切さはそこにあるのではないのでしょうか。住みよい町づくりのため、さらに継続発展していくことをご祈念申し上げます。



「ふれあい」100号記念に寄せて

京極町社会福祉協議会 会長 清水 耕策

京極町社協は平成4年に社会福祉法人として認可され、法人化された時に「ふれあい」が創刊され30年の歳月が過ぎようとしています。その間、日本の社会福祉には二つの大きな変化があったと思います。その一つは対象者の変化です。従来の対象者は極めて貧しい人や重い障がいを抱えた人などでした。例えば、老人ホームの対象者は身寄りもなく、貧しく、体の不自由な「気の毒な人」で、世間一般からは特別な人でした。平成12年に介護保険制度が設けられ、お金があってもなくても、介護をする人がいるいないに関わらず、体が不自由で、生活をする上で困難を感じている人であれば福祉の対象者になりました。すなわち地域に住む誰もが福祉の対象者になるということです。

二つ目は福祉業務の実施機関の変化です。社会福祉の業務は専門的なことが多く、主に国や都道府県で実施されてきました。地域住民が主な対象になり、そのため住民に身近な市町村へ福祉業務が移管されてきました。移管された業務があまりにも多いことから、その一部が市町村の社協に委託されるようになりました。

このような流れの中で京極町社協は委託を受けて積極的に取り組み、専門性が目立っていたように思います。これからの社協は住民の皆さんと一体になって活動し、社協が目立たず、それでいてなくてはならない存在になれば、それが住民主体の社協活動につながると思います。



地域福祉活動報告

その1

株式会社BWORKSが実施した「プログラミング体験イベント」の協力・取材を行いました!

株式会社BWORKS（ビーワークス）は令和3年より3年間、京極町の道の駅・名水プラザの指定管理を行っている企業です。小学生を対象としてプログラミングを学べるイベントを開催したいというお話をいただき、周知の面でご協力しました。イベントを知ってもらうため、社協のSNSでの告知とヤマトモリさん、米田文具ショップさんにご協力いただきチラシを配布しました。

その結果、1/15・16（土・日）に行われたイベントは、感染症対策として人数を制限し14名に参加いただきました。子どもたちに人気のMinecraft（マイクラフト）というゲームを使って学べるということで、楽しみながら学びを深めている様子が印象的でした。保護者の方向けの説明会もあり、プログラミングを学ぶと将来どうなるのか?を知る機会となり大変好評でした。今後も開催を予定していますので、SNSやチラシ等で皆様にお伝えしていきます。



その2

京極町の子どもたちと「地域のためにできること」を考える会議を行っています!

京極町の小学生2名と共に、10月から「地域のためにできること」として、一から企画を考える会議を行っています。外国人が京極町に慣れるためマップを作る等たくさんの案が挙がりましたが、学校で習った「SDGs」を意識して、国籍や世代に関係なくより多くの人に届けたいという想いから「子ども0円食堂」という企画に決定しました。地元の農家の方や企業、ボランティアに協力いただき、子どもたちが食材の調達・調理を行い、京極町のたくさんの人に食事を通して喜んでもらうという内容です。

話し合いはまだまだ始まったばかりですが、「一緒に取り組んでくれる子どもや協力してくれる大人の仲間を集めたいがどうすれば良いか?」や「どうしても必要になってしまうお金はどのように集めよう?」など共に考え話し合いを重ねています。

京極町の子どもたちの楽しみや経験の機会を地域で協力・見守っていけるように、これからも活動を伝えていきます。



京極町介護予防センター



オンラインつどいの場始まりました!

令和4年2月3日からZoomを使用した「オンラインつどいの場」が始まりました。毎週月曜日(オロッコ) 13:30~と毎週水曜日(三和会) 10:00~各つどいの場サポーターさんがちょこっと体操の様子をオンライン配信してくれます。開始10分前からZoomに入ることが出来ます。冬に外に出るのは億劫だけど体を動かしたい方や、感染が気になり公共の場に集まるのを避けている方など大歓迎です。年齢制限は無く、インターネットが出来る環境があればスマートフォン・パソコンどちらからも参加できます。体操後は画面越しでの茶話会など予定しています。

③スマートフォンでの参加の場合は契約GB(ギガバイト)数を確認してから参加して下さい。約1回の参加で0.3GB必要です。



オンラインつどいの場参加の様子
(上の画像は蔓延防止等重点措置期間中の為、職員が対応しています)

新規つどいの場「と金の会」の紹介

令和4年1月13日から新規つどいの場「と金の会」がスタートしました。男性に特化した会になっています。体操後には茶話会をしています。コロナが心配な方もいらっしゃると思いますが、感染対策をとったうえで開催しています!お近くの方は、ぜひご参加ください!

開催日時: 毎週木曜日 14:30~
場 所: 地域福祉拠点きょう・ここ
サポーター: 小原 彦也さん
参加平均人数: 3名



と金の会を始める為の話合いの様子



お問い合わせは… 介護予防センター (代表 ☎0136-42-3681)

居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所業務紹介

介護保険は介護が必要になった方が地域で安心して暮らしていくための制度です。役場や地域包括支援センターでご相談していただき、要介護認定の流れから要介護1～5に認定された方で自宅を中心としたサービスを希望する方のお手伝いをさせていただくのが、居宅介護支援事業所の仕事となります。デイサービスやヘルパーさんなど聞きなれたサービスの他に、訪問リハビリ、訪問看護、短期入所生活介護、福祉用具貸与、住宅改修、居宅療養管理指導、必要に応じて訪問入浴、通所リハビリ等があり、利用される方の希望に合わせてお話をお聞きして、利用される方やそのご家族の意向や目標に沿ってケアプランを作成し、サービス事業所と契約を結びサービスを利用することとなります。



お問い合わせなど 京極町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所 ☎0136-42-3681 (担当:佐藤は・本間)

訪問介護事業所

訪問介護事業所のサービス内容を紹介します。



(身体介護)

- ・食事、入浴、排せつの支援
- ・通院や外出時の同行支援

●自己負担(1割)のめやす

身体介護中心	20分～30分未満	250円
	30分～1時間未満	396円
生活援助中心	20分～45分未満	183円
	45分以上	225円
通院等乗降介助	99円	

(生活援助)

- ・住居の掃除、洗濯、買い物代行
- ・食事の準備、調理など

●以下のサービスは、介護保険の対象外です。

- ・本人以外の家族のための家事
- ・ペットの世話・洗車
- ・草むしり、花の手入れ
- ・来客の応対
- ・模様替え など



住み慣れた環境と時間をいつまでも共有できるように在宅生活をサポートいたします 京極町社会福祉協議会 訪問介護事業所

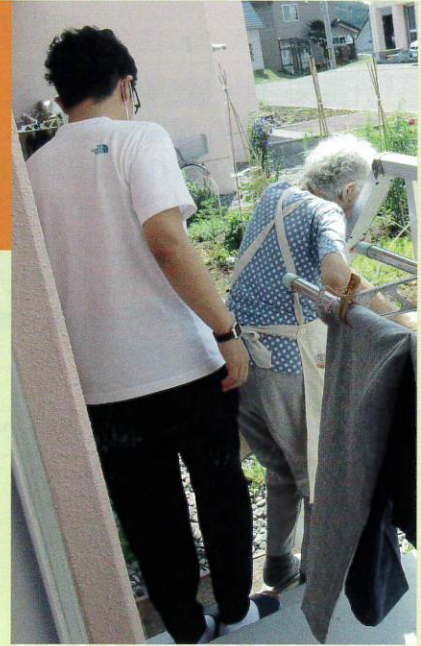
京極町地域包括支援センター

自分らしく生活する為に リハビリ訪問を 利用してみませんか？

こんなお悩みはありませんか？

- ・筋力が低下して、歩くことに不安がある。
- ・手の動きが思うようにならない。
- ・身体の動きが鈍くなり、好きなことが出来ない。
- ・福祉用具の使い方が分からない。

ご相談頂ければ包括職員がお話を伺い、リハビリの専門職とご自宅を訪問して、お家での暮らし方を確認させて頂いています。気づきにくいお家の中の危険を発見して、より生活しやすい室内づくりや用具の選定など、お一人お一人に合わせた環境と動作のご提案を行っています。



手摺が必要な場所が分かり、住宅改修の参考になりました。

訪問リハビリを受けることになって、体力作りができています。

利用された方の感想

目的

高齢者の方が、安心して住み慣れたご自宅で出来る限り自立した日常生活を送ることが出来る。

訪問先での内容

- ① 機能評価(病状や身体機能の把握など)
- ② 生活動作の助言(歩行、食事、排泄、着替え、座位保持など)
- ③ 環境整備のサポート(状態にあった住宅改修のアドバイスなど)
- ④ 福祉用具の選定(身体に合わせた日常生活を助けるための用具の利用支援)
- ⑤ ご家族の相談(介助方法のアドバイスなど)
- ⑥ 自宅でできる運動プログラム
※理学療法士、作業療法士のそれぞれの専門分野によって異なります。



担当ケアマネジャーやご利用されているサービス事業所も、リハビリの専門職から助言を受けてご本人を中心としたより良い支援につなげています。

ご利用は担当ケアマネジャー、または地域包括支援センターまでご相談ください。

お問い合わせ 地域包括支援センター (直通☎ 0136-55-8615)

デイサービスだより

令和3年7月より、
地域密着型 通所介護事業所
になりました。

『地域密着型 通所介護』とは？

要介護状態となった高齢者が可能な限り居宅での生活を継続するために、通所介護施設で提供される介護サービスです。国が推進する地域密着型サービス(地域包括ケアサービス)のひとつで、2016年より始まりました。食事や入浴などの日常生活上の支援だけではなく、生活機能の維持・向上を目指して機能訓練や口腔機能向上サービスなどを提供します。

役割

地域密着型 通所介護の主な役割としては、利用者様の日常生活を支援することや身体機能を維持することですが、それだけではなく、通所介護デイサービスセンターに通うことで、社会とのつながりを持つ意欲を高め、閉じこもりがちにならないようにするという目的があります。利用者様の社会的孤立感の解消や、ご家族の介護負担軽減にもなります。

定員・利用対象者

地域密着型 通所介護の定員は18人以下となります。
利用対象者は下記の条件を満たしている人です。

- ・【事業所が所在する市区町村に住民票がある】
- ・【65歳以上の高齢者である】
- ・【要介護認定を受けている】

以上3点すべてに該当する方が対象となります。

※要介護認定は要介護1～5の認定を受けている方のみが対象です。要支援の方は利用できませんのでご注意ください。

詳しくは、京極町社会福祉協議会、または担当ケアマネージャーまでお問い合わせください。

京極町社会福祉協議会
地域密着型通所介護事業所
京極町デイサービスセンター



作：わち太郎様 配色：佐藤 建一様



令和3年度赤い羽根共同募金協力者

◎法人・団体

(敬称略、順不同)

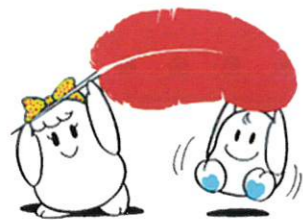
京極中学校	広徳寺	光寿寺	紅寿司
(有)赤木農産	樋口電気工業(株)	慶和園職員互助会	(有)川上温泉
日本通運(株)羊蹄支店	久保砕石工業(株)	(有)古屋建設	(有)田村林業建設
(有)ライズ工業	龍門寺	ようてい森林組合	(株)道南富士コン
北海道ミネラルウォーター(株)	(有)京極石油	(株)桜組	(有)グリーンファーム笹原
JAようてい京極支所	(有)清本重機	(有)藤沢デンキ	京極建設協会(菊地建設内)
(有)船場農場	(有)高島電設工業	京極建設(株)	羊蹄グリーン病院
後志自動車工業(有)	ローソン京極店	京極町商工会	(有)新道南総合
後志総合管理(有)	(株)京極運輸	菊地歯科医院	(有)ゆうゆうファーム
京極温泉	(株)鈴木商事	(株)中村組	(株)京極産業
菊地建設(株)	(有)京極環境クリーン	(株)吉川英昭農場	川崎建設(株)
(株)羊蹄清掃社	(有)多田農場	(株)高瀬製作所	

◎町内会

駅前	旭町	375	末次
新京極	東団地	三区	南京極
本通	望羊団地	共栄一	北岡
南本通	あけぼの団地	共栄二	軽川
一条通	ときわ	ふきだし	中野
二条通	第二ときわ	川西	松川
三条通	第三ときわ	芙蓉	錦
二丁目	東春日	四区	
報徳	三崎	十区	
一八	三崎116	七区	

◎個人

氏名
笹原満雄
長壁千代子



令和3年度赤い羽根 歳末たすけあい

募金結果報告

今年も皆様のご協力に深
れが厳しい経済状況にもか
かわらずあたたかいお気持
ちを寄せていただきました。
海道広域の福祉事業に使わ
るために大切にに使わせてい

く感謝申し上げます。それぞ
くならずあたたかいお気持
寄せられた募金は、一部北
れるほかは、京極町の福祉
たします。

赤い羽根 共同募金実績

1,160,382円



今回寄せら このように使わ

赤い羽根募金(千円)

北海道広域事業など	151
募金活動費	69
令和4年度実施事業	
高齢者緊急通報システム設置事業	265.5
広報誌「ふれあい」発行	341
ボランティアセンター運営	150
京極小学校ボランティア活動助成金	67.5
京極町共楽クラブ助成金	52.5
湧水塾自治会助成金	37.5
京極町身体障害者福祉協会助成金	26

歳末たすけあい 募金実績

1,134,585円



れた募金は、 せていただきます

歳末たすけあい募金(千円)

令和3年度実施事業	
歳末支援金贈呈	591
(母子父子世帯、一人暮らし高齢者、 重度心身障がい者、町内福祉施設)	
デイサービスでのクリスマス会	60
除雪ボランティアイベント	128
令和4年度実施事業	
ほかほかまつり・ミニ	75
新しい食の支援事業	150
あんしん見守り電球設置事業	360
次年度繰越	947

令和3年度歳末たすけあい募金協力者

◎法人

(敬称略、順不同)

京極八幡神社	京極建築協会	(有)ライズ工業	羊蹄グリーン病院
光寿寺	北海道ミネラルウォーター(株)	後志総合管理(有)	日本通運(株)羊蹄支店
広徳寺	(株)吉川英昭農場	(有)新道南総合	菊地建設(株)
(宗)北神分教会	(有)グリーンファーム笹原	(株)道南富士コン	(株)高瀬製作所
(有)田村林業建設	京極建設協会	(有)高島電設工業	(株)羊蹄清掃社
菊地歯科医院	(株)中村組	JAようてい京極支所	(有)ヤマトモリ
(有)多田農場	京極建設(株)	ようてい森林組合	(有)藤沢デンキ
(有)船場農場	(株)桜組	(株)京極運輸	安保健設(株)
(有)古屋建設	養護老人ホーム慶和園	(株)鈴木商事	京極町商工会
ローソン京極店	(有)京極石油	(有)京極環境クリーン	
久保砕石工業(株)	(有)ゆうゆうファーム	樋口電気工業(株)	
(株)京極産業	川崎建設(株)	ぶんぐショップよねた	

◎町内会

駅前	旭町	375	七区
新京極	東団地	三区	末次
本通	望羊団地	共栄一	南京極
南本通	あけぼの団地	共栄二	北岡
一条通	ときわ	ふきだし	軽川
二条通	第二ときわ	川西	中野
三条通	第三ときわ	芙蓉	松川
二丁目	東春日	四区	錦
報徳	三崎	京極	
一八	三崎116	十区	

◎団体

京極町議会議員会	京極飲食店組合
京極町農業委員会親睦会	八人会(代表 有末義美)
民生委員児童委員協議会	琴城流大正琴朋の会一同
自治労京極町職員労働組合	陶芸サークル
十五日会	陶芸愛好会チャリティー募金
京極信友会	昭和38年卒業京極中学校 同窓会出席者一同
京極商工会女性部	

◎個人

氏名
中村和男
中村郁子

共同募金へのご協力 ありがとうございました



京極町生活サポートセンター

?成年後見制度ご存知ですか?

認知症や精神障害,知的障害によって、お金に関わる不安を抱えていたり、一人では契約を行うのが難しい方々のお手伝いをする制度です。

↓↓ 思い当たること、ありませんか? ↓↓

母が認知症で、銀行で下ろした**お金をどこかに置いたまま場所が分からない**…

妹は精神障害があつて、**お金があればあるだけ使ってしまう**。この先とても心配。

病気で入院が必要になったけれど、身寄りがいなくて自分で手続きするのも難しい…

認知症の親のもとにセールスの電話がきて、言われるがまま商品を買う契約をしてしまった。**契約を取り消したい**。

夫の**遺産相続手続き**、自分ではどうやったらいいか分からない。頼れる家族もいない。

亡くなった親の名義の**土地を売りたい**けど、息子は知的障がいがあり、難しい手続きができない。

その困りごと、**成年後見制度**が活用できるかもしれません

～ 過去にはこんなご相談がありました～

- ◎亡くなった夫が所有していた土地を売ることになった。
妻・子ともに精神障害があるので、自分たちで売買契約をするのが難しい…
→2人に成年後見人がついて売買契約をしてくれたので、無事に土地を売ることができた。
- ◎施設に入所している叔母の面倒を見ていたが、家族で遠くに引っ越すことになった。今後入院手続きが必要になった時などのために、叔母に後見人をつけられないか。
→叔母に成年後見人がつき、お金の管理や契約をしてくれることになったので、相談者は安心して引っ越すことが出来た。

京極町社会福祉協議会では、成年後見人受任や日常生活自立支援事業を行っています。制度の内容や利用のご相談など、お気軽にお問合せ下さい。

●●●●● お問い合わせ ●●●●●

京極町字三崎68番地 京極町生活サポートセンター
TEL 0136-42-3681 担当：後藤 中村

除雪ボランティアへのご協力 ありがとうございました!!

2022年の除雪ボランティアイベントは新型コロナ感染症対策の為、例年より規模を縮小して行いました!コロナ禍であっても開催できたことは大変うれしく思います!今年度も温かい気持ちでご参加いただきましてありがとうございました!来年も是非ご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます!

除雪ボランティアイベント参加者の推移



除雪ボランティア イベント 協力者一覧

所属	氏名
(株)櫻組	小林 智明
	佐久間 清
(株)菊地建設鋳業	石澤 一紀
	渡辺 幸隆
	鑄鍋 雄一
	山田 敦
	吉田 孝
	藤波 長嗣
	藤波 貴嗣
	上手 一
	瀬木 和弘
	京極町町議
中村 厚子	
鈴木 敏行	
大野 利明	

所属	氏名
商工会女性部	赤間真知子
	水上まゆみ
一般参加	多田 優美
	鳥谷部寿美恵
	栗栖 芳子
	竹ヶ原 強
	丁名塚幸美
	山岡 龍二
	高橋 武志
	高谷 武志
	笹原 真奈
	笹原 博昭
	荒関 勝義
	堅田 光良
多田 雅典	

所属	氏名
一般参加	高橋 勝己
	上野 幸二
	岡本 政行
	大場 克己
	村上 政明
京極中学校	佐々木 淳
京極町役場	眞酒谷勇斗
	吉田 賢人
	多田 雄亮
	東倉 志穂
	渡辺 夢那
	道見 友一
	山岸 健生
	佐々木慧奈
斎藤 太貴	

所属	氏名
京極町役場	山内 隼介
	田中 敦司
	鳥羽 遼
	佐々木貴裕
	駒田 香奈
	榎本美智子
	畑川 均
	中垣 隆之
	中村 寿樹
	小林 哲也
(有)ライズ工業	梅田 禎氏
	佐藤 一

※順不動・敬称略

第3回 共楽クラブだより

共楽クラブとは

共楽クラブは昭和40年2月7日に設立した相互扶助団体です。今年で創立56年目になりました。共楽クラブでは昔から変わらぬ『会員相互の親睦と融和』という目的のもと、様々な活動を行なっています。例えば春には研修旅行・夏にはパークゴルフ大会・秋には芸能発表・冬には新年会と、1年通して様々な活動を行っています。しかし最近ではコロナウイルスの拡大で例年のような事業展開は出来ていませんが、工夫しながら今だからこそできる事を模索し活動いたしております。京極町にお住まいの60歳以上の方、いつでもご参加お待ちしております!ご興味のある方は事務局まで一度ご連絡ください!

令和3年度の振り返りと今後の展望

令和3年度が終わり、新年度が始まりました!

昨年度は相変わらず、コロナに左右され身動きの取れない1年間でしたが、今年度は少しずつ改善されていくといいですね。

ところで近年会員数の減少が顕著です。これを食い止めなくては、会の存続が危ぶまれます。

また、共楽クラブ会員の平均年齢は81.8歳です。色々活動を広げていくうえでこれからはヤングシニアの力がとても重要になると考えております。そのため、今後60・70代の会員数の増加が望まれます。

事実を認識し、本会は「何をする会」なのかを再定義しなければならない時期が来ているのかもしれません。

共楽クラブ会員数



共楽クラブ専用のPCを購入いたしました!!

今年2月の中旬に共楽クラブ専用PC(パソコン)を購入しました!このPCは町からの補助金を活用させていただき、購入しております。

コロナウイルスが流行し、人と人とのふれあいが減少する中、交流の手段としてパソコンや携帯電話がどんどん普及しています。

今回購入したパソコンも会計簿や書類作成はもちろん、インターネット通信を使ったコミュニケーションツールとしての運用を想定しています!

今後は共楽クラブ内でパソコン・スマホ教室等を開催しても面白いかもしれませんね!



令和3年10月スタート!

『1人暮らし高齢者等かぎ預かり事業』と『地域見守り協定』 ～かぎ預かりと地域の見守りで、安心して暮らせるまちに～



一人暮らし等で不安のある方を対象に自宅の合鍵を社協が預かり、異変があった場合に役場や警察・消防と協力して安否確認する事業を開始しました。異変に気づくには日々見守るご近所さんの協力がなくてはならないため、町内会と『地域見守り協定』を結び連携して取り組む体制をつくっています。さらに、令和3年12月20日には、町内会、民協、役場、警察、消防、社協、包括支援センターで構成する「第1回見守り体制推進協議会」を開催し、京極町の見守りに関する協力体制を確認いたしました。



※令和4年3月1日現在の取り組み状況

かぎ預かり世帯	8世帯
協定締結	5町内会

《かぎ預かり・見守り協定に関するお申込み・お問い合わせ》

京極町社会福祉協議会 (担当:藤波、阿蘇)

電話 0136-42-3681 FAX 0136-41-2031 メール kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp

寄付・寄贈に感謝いたします

- 【寄 贈】**
- ・北海道コカ・コーラボトリング(株)小樽営業所様
 - ・岡部 俊子様 ・佐藤 建一様
 - ・ぶんぐショップよねた様 ・長谷川 喜以様
 - ・福田 まつ子様 ・菊地 テツミ様

【期間】12月～2月

【寄 付】「福祉基金へ」

長壁 千代子様より、京極町の福祉の為に
 長谷川 喜以様より、京極町の福祉の為に
 和田 清美様より、夫の故 和田 吉正様の生前のお礼として
 佐藤 登様より、京極町の福祉の為に
 佐藤 恭子様より、京極町の福祉の為に
 百日 明広様より、母の故 百日 キモエ様の生前のお礼として
 京極町商工会女性部
 部長 赤間 眞知子様より、社会福祉事業資金の一部として
 菊地 テツミ様より、夫の故 菊地 安治郎様の生前のお礼として



ふれあい 58号

今年11月11日(土)開催
除雪ボランティアイベント 総勢141名
降雪に負けない、みんなの力!!

ふれあい 60号

初夏を楽しむ会 2012
6月30日(土)開催

ふれあい 61号

2012ふれあい広場

ふれあい 62号

2012ふれあい広場

ふれあい 63号

ボランティア養成講座で異文化交流!
そこで感じたこと...

ふれあい 64号

ひとり、ひとりのやさしさが集結!!
除雪ボランティアイベント1月・2月盛大に開催!!
今年は雪が来ても、初めて2回の開催となりました。

ふれあい 65号

京和会で
ふまねっとサロン
開催!

ふれあい 66号

2013ふれあい広場

ふれあい 67号

第13回ほかほかまつり

ふれあい 71号

匠 特集
等々力公園の地産物(小物入れ)

ふれあい 72号

214名ボランティアイベントで協力ありがとうございました!

ふれあい 73号

京極町ヘルパーSUNの会
京極賞状を
考える会

ふれあい 74号

2015ふれあい広場

ふれあい 75号

ほかほかまつりで認知症リポーター養成講座開催
町民ドラフト好評でした!!

ふれあい 84号

ついでに地産物と体験を行っています。

ふれあい 95号

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、研修をオンラインセンター
出張予約センターで開催いたしました。

ふれあい 97号

高齢者福祉センター
ふれあい広場

ふれあい 98号

子どもにやさしく育てるために、東京地区の
毎月10日(日)に「ふれあい」を開催しました。

おわりに

雪の多い季節でしたが、寒さも次第に弱
まってきました。依然として新型コロナウ
イルスの影響で社会活動が制限されてい
る世の中ではありますが、次第に新しい生
活様式も定着してきています。社会情勢か
ら世界情勢へ目を向けなくてはならない
事件もここ数年多くなったように思いま
す。福祉でも日本だけではなく世界に目
に向けた取り組みが必要になってきました。
今後も地域の皆様と「ふだんの 暮らしの
しあわせ」を協議していきますので今後
もよろしくお願いいたします。

